

木場潟公園(東園地) 中期経営目標

(実施期間 令和8年度～令和12年度)

令和8年3月 策定

1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市の景観や環境の維持・向上を図るとともに、良質な生活基盤として県民の利用に供することにより、まちなかの賑わい創出や健康福祉などに寄与することを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

本公園は、木場潟の優れた自然の保全、活用を目的に整備された木場潟公園の東側に広がる丘陵地に位置し、隣接地で保養施設を運営する(株)小松製作所の協力を得て、里山を「学び」「遊び」「体験」できる「新たな里山再生のモデル」となる公園として、令和5年4月23日から5.3haのエリアを供用開始しています。

公園には、3つの拠点建物として、利用の中心となる「里山交流ハウス」、年間を通して野菜等の収穫体験が楽しめる「農業体験ハウス」、未利用間伐材等を活用した資源循環を学習できる「里山資源再生ハウス」のほか、里山林内には展望デッキや大型遊具など里山の魅力を生かした施設があります。また、公園で発生する未利用間伐材のほか、温泉水・地下水、太陽光発電などの利活用を通じ、再生可能エネルギーの学習拠点となる公園としても活用します。

さらに、これらの施設や公園をフィールドとして、子どもから大人までが楽しく学べる体験学習プログラムの展開や、魅力あるイベントの開催により、南加賀地域における交流人口の拡大につながることが期待されます。

3 事業内容

(1) 良好な里山の保全・魅力の発信

園地や施設の整備と良好な管理により、里山の持つ役割や魅力を発信します。

(2) 里山の魅力を活かした体験学習の場の提供

子どもから大人まで幅広い世代が、安心・安全に里山の魅力や役割を楽しく学べる体験学習プログラムや、地域交流活動の場を提供します。

(3) 再生可能エネルギー利活用の学習の場の提供

農業体験ハウスの木質バイオマス暖房機や、温泉水・地下水、太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利活用の学習の場を提供します。

(4) 県民参加による観光交流の場

公園内でのイベントや、修学旅行生を対象とした各種体験学習プログラムの開催により、観光交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・木場潟公園（東園地）では、施設を効率的・効果的に管理するため、令和5年度から指定管理者制度を導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行い、当中期経営目標の実施期間である令和8年度から令和12年度までは、「株式会社岸グリーンサービス」を指定管理者として指定しました。
- ・県では、利用状況や利用者からの意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、老朽化した施設の更新・修繕や運営指導等を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・園地や里山林については、遊具や園内散策といった一般的な利用をはじめ、体験活動のフィールドとなるなど、様々な用途で利活用されるため、適正な管理を実施し、利用者の快適性や安全性の向上を図るとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めます。また、効率的、効果的な管理運営の手法を研究し、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。
- ・本公園の最大の特徴である「新たな里山再生のモデル」として、子どもから大人まで参加できる体験学習プログラムの開催や公園内の施設の利活用などにより、幅広い世代に里山の魅力や役割を理解いただくとともに、里山の維持・管理へ参画する必要性を理解していただく必要があります。
- ・広報活動として、ホームページやSNS、各種マスメディアを活用した情報発信を行い、情報発信の充実に努めていく必要があります。
- ・県民参加型の公園として、地域や関係機関、ボランティア等との連携を進めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行います。
- ・指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者へ提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で25%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (R5～R6 平均)	中間目標値 (R10)	最終目標値 (R12)
① 利用者数		83,808人	96,000人	105,000人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	97.8%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	98.3%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・ 里山整備を計画的に行い、気軽に散策や自然観察ができる環境にしていきます。
- ・ 体験学習プログラムを柱とした県・自主企画事業を積極的に展開していきます。展開にあたっては、いしかわ自然学校との連携を図っていきます。
- ・ 近隣の小学校、地域コミュニティーへの働きかけを積極的に行い、各種事業への参加者増と施設利用促進を図ります。
- ・ 利用者の声を拾い上げ、優先順位をつけて改善につないでいきます。
イベントの開催時に参加者に対し、アンケート記入の呼びかけを実施するなど、できるだけ多くの声を収集していきます。
- ・ 職員は常に「おもてなし」の精神にたって、あいさつの励行や様々なお問合せに対して誠意を持った応対を行い、職員と利用者の距離が近づく接客に心がけ、来園リピートにつなげます。
- ・ SNSの有効活用を通じて様々な情報発信を行い、利用者拡大を図ります。
発信力向上のために年1回SNS講習会を開催し、東園地の魅力を常に発信していきます。
- ・ 木場潟公園協会・道の駅こまつ木場潟との定期的な情報交換を実施するとともに、様々な連携企画を検討し、木場潟エリア全体の魅力を向上していきます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・伐採木のペレット製造とあわせ、チップを里山遊歩道沿いなど里山エリア内に撒くことにより、雑草の生育を抑制し除草作業の軽減を図ります。
- ・職員の各施設への柔軟な人員配置を行い、利用者のニーズに合った施設運営に努めます。
- ・木場潟公園協会の運営方法を参考にし、ボランティアの協力による東園地の里山保全活動を研究するとともに、フォレストサポーター会の協力を得て引き続き里山整備を進めていきます。

以上

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況) (単位:人)

項目	R5※	R6
利用者数	75,192	92,424
2年平均		83,808

※R5年4月23日開園

(2)利用者アンケート指標(利用者サービス) (単位:%)

項目	R5	R6
良い	73.4	72.8
概ね良い	26.6	22.8
計	100	95.6
やや悪い	0	2.5
悪い	0	1.9

(施設の維持管理) (単位:%)

項目	R5	R6
良い	76.7	82.7
概ね良い	23.3	13.9
計	100	96.6
やや悪い	0	0.9
悪い	0	2.5

(3)使用許可等の状況

該当なし

(4)使用料の収入実績

該当なし